

2025年7月吉日

広島県医師会 御中

がん医療従事者研修会の開催について（案内）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

がん診療連携の推進につきましては、日ごろからご協力いただき、厚くお礼を申し上げます。

この度、広島大学病院では、がん診療の質の向上及び専門的な知識の普及を目的とし、がん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等の皆様を対象としたがん医療従事者研修会を下記のとおり開催いたします。本研修会のポスターを同封しておりますので、周知・広報にご利用ください。

敬具

記

日 時 2025年9月26日（金）18:00～19:30（予定）

開催方法 Zoomを利用したオンライン開催

内 容 講演1：「広島県における緩和医療の連携と課題」

講 師：広島大学病院 精神科
診療准教授 倉田 明子 先生

講演2：「在宅緩和ケアの今とこれから～地域医療の視点から～」

講 師：なんば内科クリニック
院長 難波 将史 先生

以 上

問合せ先

広島大学病院医療支援グループ

担当：高畑

電話：082-257-5934



オンライン開催

広島大学病院 がん医療従事者研修会

広島大学病院では、がん診療の質の向上及び専門的な知識の普及を目的とし、がん医療に携わる医師・薬剤師・看護師等を対象とした研修を以下のとおり開催いたします。

講演1

「広島県における緩和医療の連携と課題」



広島大学病院 精神科
診療准教授

倉田明子先生

がん医療において、診断から看取りまで緩和医療を切れ目なく提供することが求められています。そのためには、相談支援部門に任せるだけではなく、医療者一人一人が自らの地域の急性期病院、一般病院、在宅診療、緩和ケア病棟の状況を把握することが重要です。当日は、広島県の緩和医療連携について考えてみたいと思います。

講演2

「在宅緩和ケアの今とこれから ～地域医療の視点から～」



なんば内科クリニック
院長

難波将史先生

在宅医療がどういった医療を提供しているか、ご存じでしょうか？そして、在宅での緩和ケアでは何ができて、何ができないのか？ 少子高齢化が進む日本において、国が目指す在宅医療の姿とは？ 地域で外来と在宅医療を兼ねる一開業医として、在宅医療における緩和ケアのリアルと、今後の展望についてお話をさせていただきます。

開催日時 ▶ 2025年9月26日(金)18:00～19:30(予定)

開催方法 ▶ Zoomによるオンライン受講

【申込方法】

QRコードを読み取り、申込フォームに入力後送信してください

※申込締切 9月19日(金) 17:00 要申込



お問い合わせ先：広島大学病院 医療支援グループ TEL 082-257-5934

(主催) 広島大学病院 (都道府県がん診療連携拠点病院)

(共催) 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム/広島大学次世代のがんプロフェッショナル養成プラン